



世界でも4冊揃うことが稀な

シェイクスピア戯曲全集

京都外国語大学

京都外国語大学は世界的に貴重な書物を所蔵。17世紀初頭に翻訳された『欽定訳聖書(きんていやくせいしょ)』や後世の辞書の見本となったジョンソン編『英語辞典』などがある。また、17世紀のオランダ製地球儀と天球儀の組み合わせはイギリスの大英博物館と京都外国語大学のみで現存している。さらに、世界200冊余りほどしかない『シェイクスピア戯曲全集』は4冊全てが揃っており、世界でも非常にレアなケースとなっている。

7500冊を超える社史コレクション

商学部の大学ならではのお宝



横浜商科大学

横浜商科大学は創立者・初代学長松本武雄により、「経営史や企業史の資料を集め、これを本学の特色としたい」という意向のもと、企業の社史や経営史の収集が行われた。1986(昭和61)年の開学20周年を機に松本記念文庫を創設、現在は7500冊を超える社史が保管されている。写真は『南満洲鉄道株式会社の社史』。当時の南満洲の地図と併せて保管されて、地理条件、歴史的背景から企業をとらえ、ビジネスモデルを学ぶことができる。

J. J. ルソー作曲のオペラ『村の占い師』の

オリジナル版の楽譜 エリザベト音楽大学



エリザベト音楽大学の図書館は、小規模ながら音楽図書館として蔵書の充実に努めており、蔵書・資料を約12万5000点所蔵している。作曲家全集や楽譜叢書など、音楽大学ならではの資料が数多くある。その中で同館が貴重書として自負している楽譜の一つが、J. J. ルソー作曲のオペラ『村の占い師』(1753年初演)。1700年代に印刷されたオリジナル版で、写真のページにあるパントミムの旋律は、「むすんでひらいて」の原曲になったとされている。

構内に残存する戦争の記憶

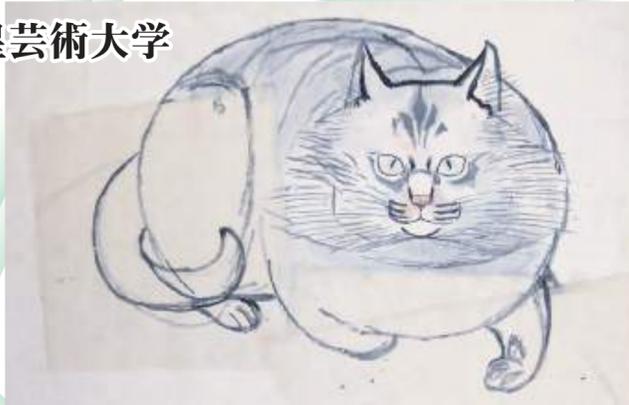
相模女子大学



相模女子大学の構内に、古びた鉄製のマンホールがある。よく見ると、中央に星のマークが入っている。これは旧日本陸軍のシンボルマークの五芒星である。戦前の相模原は旧陸軍の施設が集中する「軍都」であり、同大学がある場所には、終戦まで陸軍通信学校があった。このマンホールは、終戦後に移転してきた同大学でも使用され続けている。そんな相模原と同キャンパスの歴史と記憶を物語る、貴重なお宝である。

日光に眠り猫、文星芸大にはこの猫☆

文星芸術大学



近代日本画壇の雄・前田青邨が1967年第22回日本美術院春季展に出品した『胡猫』、そのスケッチと下図が、文星芸術大学の秋山記念文庫に所蔵されている。同記念文庫は美術史家秋山光和氏の蔵書を収蔵した施設。『胡猫』は青邨が秋山家を訪ねた折、飼猫の姿を気に入ってモデルにした作品。その縁でスケッチと下図が記念文庫に収蔵された。『胡猫』本画はたらしこみの技法で猫の柔らかな毛並みを表現した作品。下図は力強い線と丸みをおびたフォルムでどこかユーモラスな印象を受ける。

荘厳なパイプオルガン 東京純心大学



東京純心大学の江角記念講堂に設置されているパイプオルガン(カナダのカサバン・フレール社製)は、2030本のパイプすべて長さや太さが違い、鳥のさえずりのような高い音から、地響きのような重低音まで、色彩豊かな音を響かせる。同大学において、日々の授業、入学式、卒業式、創立記念行事、ミサ、聖母祭、クリスマスコンサート、地域住民に向けた公開講座などで美しくも力強い調べを届けている。

神戸学院大学



神戸学院大学有瀬キャンパスの大時計は1995年1月17日午前5時46分に発生した阪神・淡路大震災で動きを止めた兵庫県明石市の市立天文科学館の塔時計を譲り受けたもので、再び正確な時を刻んでいる。直径6メートル以上、重さ4トンのジャンボサイズ。当時は日本標準時子午線の東経135度の線上に設置されていた。今は塔から外されて台座の上に置かれている。震源地に最も近い大学キャンパスのシンボルとして歴史を伝えている。

震災の歴史を伝える

有瀬キャンパスの大時計

秋田犬の60年の歩みを

おさめた貴重フィルム



ヤマザキ動物看護大学

ヤマザキ動物看護大学の図書館には、日本の天然記念物に指定されている「秋田犬(あきたいぬ)」の60年前から現在に至るまでの姿を収めた動画8ミリフィルムが所蔵されている。秋田犬は和犬の代表格として広く愛されているが、戦争により純粋な秋田犬が消えかけた歴史があることは、残念ながらあまり知られていない。この動画は現在の秋田犬の姿に至るまでの変遷を概観でき、ひいては秋田犬と人間の未来への大きな貢献となることから、一般公開を進めている。同大学機関リポジトリ URL: <https://yamazaki-u.repo.nii.ac.jp/>より閲覧可能である。

大学のお宝拝見!!
大学に眠る知の宝箱!!

キャンパス万華鏡

写真が語る大学の横顔

大学は知の宝箱。各大学教材や研究資料として蓄積されたさまざまな美術品、歴史資料など数々、保存・管理されている。また、建学の精神を今に伝える歴史的建造物、語り継がれる人物など、大学が誇るものが人知れずある。そこで、全国に所在する日本私立大学協会加盟大学に呼びかけ寄せられた、知られざる「大学のお宝」を紹介する。

徳川將軍家の侍医で植物学者の

桂川甫賢の水彩画



神田外語大学附属図書館が所有する「長崎屋宴会図」は、オランダ商館長一行の江戸の定宿である長崎屋で開かれた仮装パーティーの様子を、徳川將軍家の侍医で植物学者の桂川甫賢(かつらがわ・ほけん)が描いた水彩画。1822年4月18日におこなわれた宴会を描いたもので、蘭学者の語学力が飛躍的に向上し、オランダ人と親密に文化交流していたことを裏付ける江戸時代日欧文化交流史の一級史料として多方面から注目されている。

大学構内に樹齢600年の御神木

■な、なんじゃこりゃ?というサイズと迫力で本館1階にそびえ立つ巨木。これは元々、長野県長野市の「皇足穂吉田大御神宮」の御神木だった。樹齢600年を超える針槐だったが、虫害によってやむ無く伐採することとなったこの御神木。活用の相談を預かった前理事長はこの巨木に畏敬の念を覚え、「大学の精神的支柱に据え、未来展望の確かな道標としたい」と決意し、原木の姿で保存することとした。それ以来この御神木は、大学の真ん中で学生たちを見守っている。



東北芸術工科大学

足るを知る

十分杯コレクション

長岡大学

■十分杯(じゅうぶんはい)という不思議な盃がある。十分杯は、盃の八分目までは注いでも普通の盃と変わらないが、それ以上注ぐと全てが流れ落ちてしまう。そのため、長岡では過欲に対する戒めの盃と呼ばれたりもする。十分杯は江戸時代初期に長岡藩に伝わり、藩の儉約精神を築き上げてきた。また、明治維新後は節目の年に十分杯を配る文化もできており、現代の新たな文化として定着しつつある。長岡大学にはこのような十分杯が50品ほどあり、サイフォンカップとしては世界最大のコレクションである。



阪神間モダニズムを代表する

名建築をキャンパスに

武庫川女子大学

■建築学部の拠点・上甲子園キャンパスを象徴する「甲子園会館」(国登録有形文化財)。その前身は1930年に竣工した昭和の名建築「甲子園ホテル」だ。東の帝国ホテルと並び称される憧れのホテルであったが、戦争のためわずか14年で閉業。1965年に武庫川学院が教育施設として新たな命を吹き込んだ。2006年から建築学科の学舎となり、保存修復しながら「生きた教材」として活用している。ホテル時代の面影を残す庭園と一体となった美しい風景は、建物と自然の幸福な共生を問いかけている。



■大阪商業大学商業史博物館には、明治から昭和にかけて人気を博した実力派の画家、深田直城の「群鯉」が収蔵されている。この作品は揺れる水面に鯉が悠然と泳いでいる。古来、鯉は子孫繁栄や豊穡を表すとされ、何者にも行く手を遮られることなく泳ぐ様は自由な境地に遊ぶ中国の士大夫の暮らしを寓意するものもあるという。淡い色調のなか絶妙な構図で群鯉を描く直城の技量は並大抵のものではない。同大学では、大阪画壇の中心的人物の作品を見ることが出来る。

大阪商業大学

大阪画壇の中心的人物の作品



質・量ともに日本有数の「アリスコレクション」

聖徳大学



■聖徳大学(東京聖徳学園)は、教育理念の一つとして、本物教育を積極的に推し進めるために、世界各地から文学、音楽、美術、工芸等に関する学術資料、文献等を収集している。それらを展示公開することで、学生たちが、本物の芸術に触れる機会の充実を図っているが、なかでも日本有数の質と量を誇るのが「アリスコレクション」である。世界中の子どもたちに読み継がれている『不思議の国のアリス』の初版本をはじめ、ローランサンやダリなど著名画家によって描かれたアリスや、作者であるルイス・キャロルの著書、アリスをモチーフにしたフィギュア、ゲーム、食器類など数多くの資料を所蔵している。

世界に1台しかないナポレオン帽子型ピアノ

武蔵野音楽大学



■1853年、フランス皇帝ナポレオン三世の結婚式に、イギリスのヴィクトリア女王が贈ったアップライトピアノで、叔父にあたるナポレオン・ボナパルトが愛用した帽子をかたどっている。武蔵野音楽大学は、1967年から「楽器博物館」を開館し、学内の教育研究に役立てるとともに広く一般に公開してきた。2021年に「楽器ミュージアム」と改称しリニューアルオープンした現在も、このピアノは鍵盤楽器展示室の中央ステージ上で威厳ある風格を漂わせている。

音とモノづくりの歴史資料館

■福岡工業大学には、2019年に誕生した「音とモノづくりの歴史資料館」がある。館内には、「エジソンの蓄音機」やテレビ放送開始時に使用された70年前のマイク、パルチック艦隊を撃破した旗艦三笠の時計、歴史的にも希少価値の高いカメラなど、日本、ドイツ、米国の懐かしいアナログ音響機器や時計・光学機器約千点が1世紀の時を越えて動作可能な状態で展示されている。見学者の「癒しの空間」であると同時に、工学を志す学生の学びの施設となっている。



福岡工業大学

構内に8世紀・9世紀の「国府台遺跡」

■千葉商科大学がある千葉県市川市国府台(こうのだい)は奈良・平安時代の下総国府が所在していたと推定されている。過去に実施された構内の発掘調査では、大型の掘立柱建物や国府の主要施設を区画する大型溝など多くの遺構が発見されており、瓦や土器、生産関連遺物も出土している。同大学1号館には出土品や調査成果を学生・教職員および一般市民向けに常設展示している。

千葉商科大学



看護の原点 ナイチンゲール初版本

聖隷クリストファー大学

■浜松市にある聖隷クリストファー大学は、キリスト教精神のもと保健医療福祉および教育の専門職者を養成している。同大学の看護教育には70年以上の歴史があり、これまでに多くの看護職を輩出してきた。そんな同大学のお宝は、看護の原点ともいえる、F. ナイチンゲール著『Notes on Nursing(看護覚え書)』の初版本。当時、図書館長を務めていた看護学部教員により寄贈された。看護職を目指す学生にも見てもらえるよう、大学図書館の入り口に展示されている。

古代ギリシャ、ローマ哲学者全集

別府大学



■別府大学創設者の佐藤義詮先生は古書収集家として知られ、佐藤先生が寄贈した稀少価値のある書物が本学附属図書館に所蔵されている。中でも、1513年にヴェネツィアで出版されたルネサンス期の一冊本『プラトン全集』は、碇とイルカの図像で知られるアルドゥスが発版した稀覯本。同大学附属図書館の蔵書で一番古い書物である。他にも『アリストテレス全集』(1548年)、『セネカ哲学全集』(1652年)などの珍しい蔵書がある。

キャンパス万華鏡

写真が語る大学の横顔

